

第10回 全国シェアサイクル会議

姫路市コミュニティサイクル 『ミニちゃん号西松屋チェーン姫ちゃり』

兵庫県姫路市役所 交通計画室

姫路市について



姫路市、安富町、夢前町、香寺町、家島町が平成の大合併(平成18年3月27日)により、現在の姫路市になっています。

姫路市は、兵庫県の南西部、瀬戸内海に面した播磨平野のほぼ中央に位置し、古くから京阪神・中国・山陰を結ぶ交通の要衝となっています。



【世界文化遺産 国宝姫路城】



【兵庫県無形重要民俗文化財
灘のけんか祭】

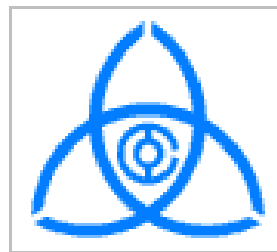


【書写山 園教寺】

姫路市のプロフィール

- 人口 530,363人 (推計人口、令和元年10月1日現在)
- 面積 534.35km²
- 市花 サギソウ
- 市鳥 シラサギ
- 市蝶 ジャコウアゲハ
- 市木 カシノキ
- 「姫路」の由来

播磨国風土記の「日女道丘（ひめじおか）」



姫路市の主な観光資源

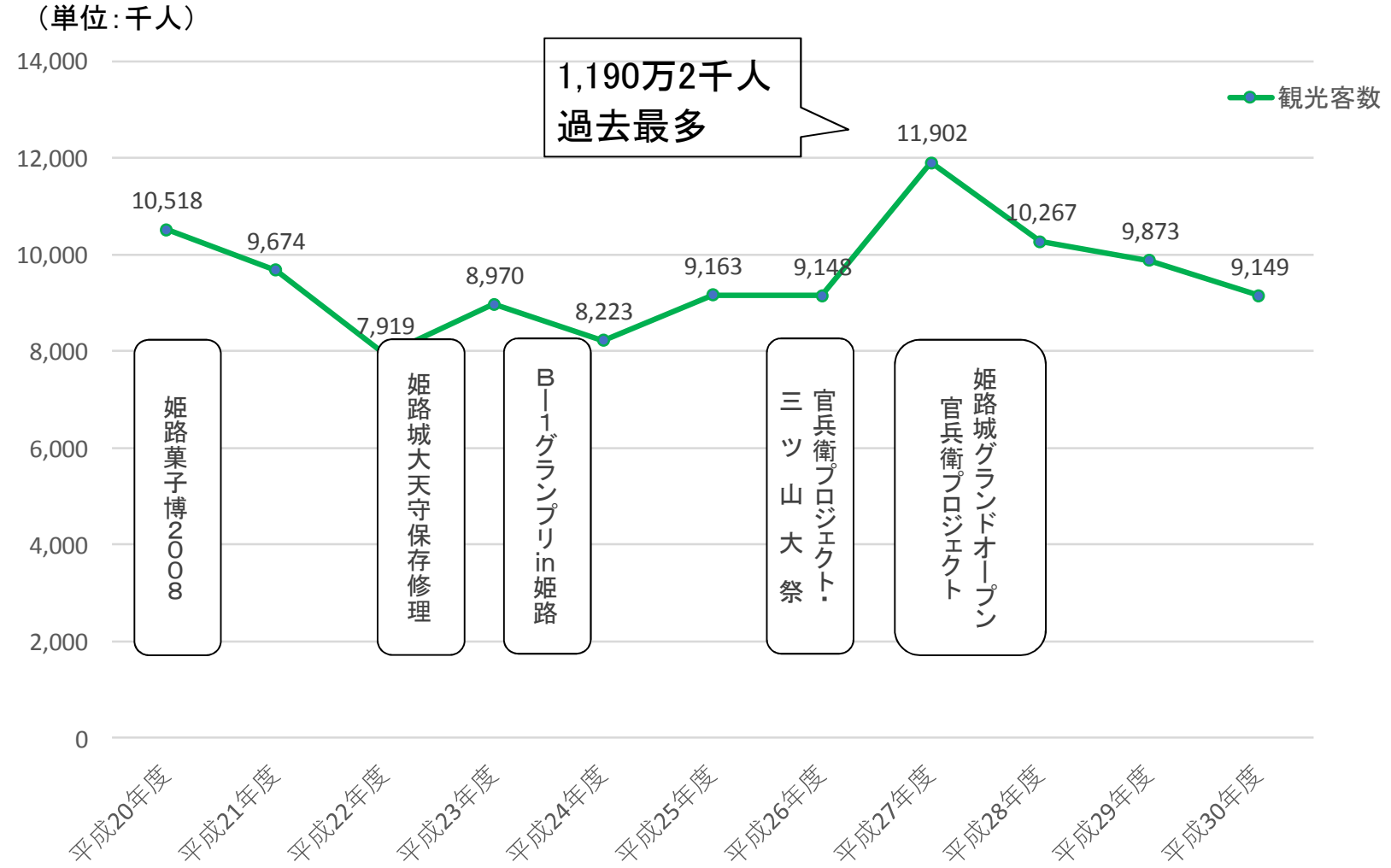
観光資源

- 世界文化遺産・国宝 姫路城
- 好古園（日本庭園）
- 書写山圓教寺
- 瀬戸内の島々
- 豊かな農漁業産物

など



姫路市総入込客数(観光客数)の推移 ※延べ人数



世界文化遺産・姫路城

登録：平成5年（1993年）12月11日

奈良の法隆寺とともに日本初の世界文化遺産

<評価理由>

- ・ **美的完成度**が高く、その美しさが日本の**木造建築**の最高のものであり、世界的に例のない優れたものである。
- ・ **現存する最大の城郭建築**であり、江戸時代初期の城郭の特徴をよく表している。
- ・ 天守群を中心に、櫓、門、土塀等の建造物や石垣、塀などの**土木建築物が良好に保存**されている。

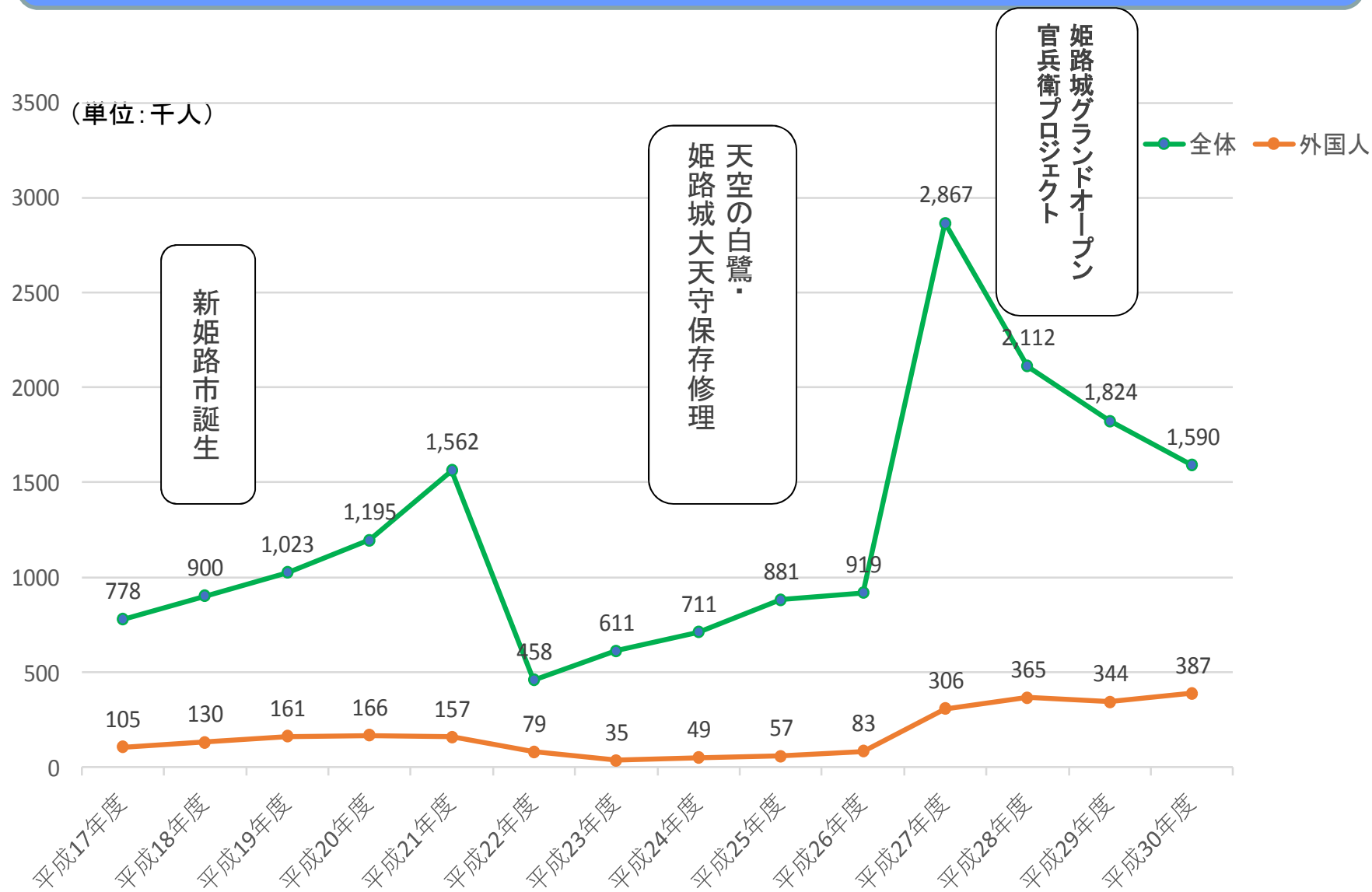
世界文化遺産・国宝 姫路城の状況

姫路城を中心とした観光施策を展開。

姫路城は大天守の保存修理を終え、平成27年3月27日にグランドオープン。

- 平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）入城者数
286万7,051人 ……過去最多、全国の城郭で第1位
うち 外国人30万6,348人
- 平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）入城者数
211万2,189人
うち 外国人36万5,180人 ……外国人比率17.3%
- 平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）入城者数
182万4,703人
うち 外国人34万3,935人 ……外国人比率18.8%
- 平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）入城者数
158万9,765人
うち 外国人38万6,909人 ……過去最多、外国人比率24.3%

姫路城の入城者数の推移



コミュニティサイクル事業について



**ミミちゃん号西松屋チェーン
姫ちゃんり**

事業の位置づけ

「公共交通を中心とした姫路市総合交通計画」(H28.3月改訂第二版)

【計画】



(基本理念)

「魅力と賑わいある都心と多核連携型都市構造の形成に向けた交通体系の構築」
～徒歩と公共交通で気軽に動け、公共交通と自動車と調和のとれたコンパクトなまちづくりをめざして～

(基本方針)

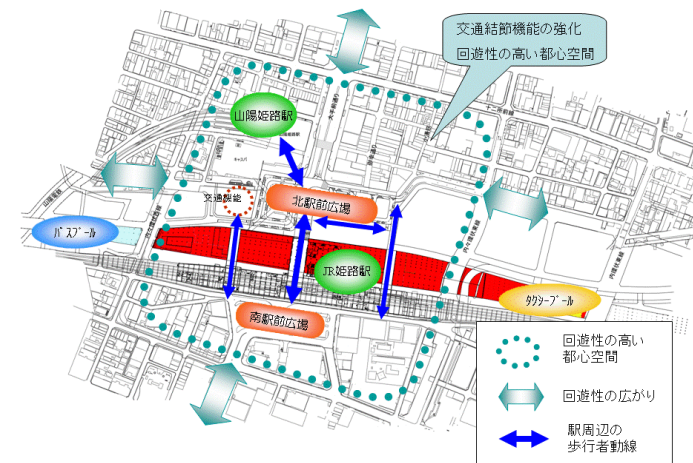
都心・中心市街地は、
自動車を抑制し、徒歩と公共交通を中心として、快適に動ける
まちづくりをめざします。

姫路駅周辺

『回遊性の高い都心づくり』

○自転車利用の環境整備

「コミュニティサイクルの推進」



コミュニティサイクル「姫ちやり」の特徴

- 一定の区域内で複数のサイクルステーションを設置し、自転車を任意のサイクルステーションで貸出・返却できるシステム
- 公共交通で都心に訪れた際の二次的な交通手段として、既存の公共交通網を補完する役割が期待され、中心市街地の活性化や回遊性の向上に寄与

コミュニティサイクルの導入目的と社会実験の目標・事業評価

● 導入目的

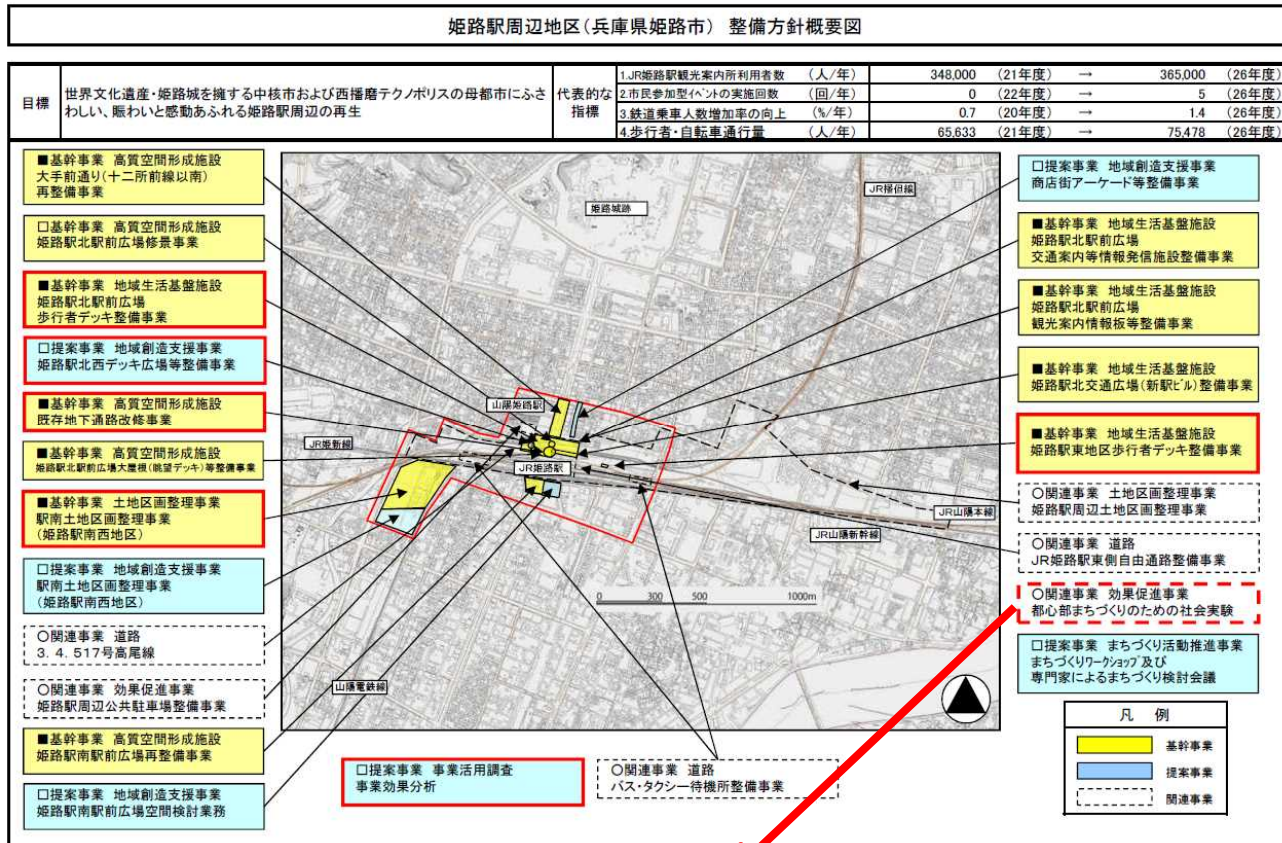
- 都心部の回遊性の向上 ～面的な移動を促す強力なツール～
- 公共交通の機能補完 ～交通手段の多様性確保～
- 中心市街地の活性化 ～観光、購買、飲食がしやすい環境整備～

● 目標・事業評価

- 回転率1.0回以上(社会実験での目標)
- 事業の効果
 - ・移動範囲の拡大
 - ・滞在時間の延長

整備手法

・社会資本整備総合交付金(市街地整備)の活用 姫路駅周辺地区都市再生整備計画事業(H22年度~)



基幹事業



【北駅前広場】



【眺望デッキ】

関連事業: 効果促進事業

「都心部まちづくりのための社会実験」コミュニティサイクル事業
【整備費等: 約134,788千円(内、国庫補助 47,960千円)】

使用車両



- 女性でも乗り降りしやすい小さいタイヤ(20インチ)とフレーム形状
- 姫路城をイメージした白い車体
- TSマーク(自転車整備保険)に加入

【平成29年10月1日以降に貼付したTSマーク付帯保険の補償内容】

傷害補償	○入院15日以上	(一律)	10万円
	○死亡・重度後遺障害(1~4級)	(一律)	100万円
賠償責任補償	○死亡・重度後遺障害(1~7級)	(限度額)	1億円
被害者見舞金	○入院15日以上	(一律)	10万円



【TSマーク】

【平成29年9月30日までに貼付したTSマーク付帯保険の補償内容】

傷害補償	○入院15日以上	(一律)	10万円
	○死亡・重度後遺障害(1~4級)	(一律)	100万円
賠償責任補償	○死亡・重度後遺障害(1~7級)	(限度額)	5000万円
被害者見舞金	○入院15日以上	(一律)	10万円

第一次社会実験の概要



期間	平成26年10月1日～11月30日
営業時間	9:30～17:30
貸出拠点	7箇所(左図参照)
車両数	65台(姫路駅30台、その他は各5台、予備5台)
料金	1日100円(何度借りても返しても追加料金なし)
貸出方法	全てのステーションにスタッフを配置し、対面式で対応
利用できる方	中学生以上
業務委託先	株式会社 日建設計

第二次社会実験の概要



期間	平成27年10月10日～3月31日
営業時間	9:00～19:00
貸出拠点	10箇所(左図参照)
車両数	100台(実働 80台)
料金	1日100円(ただし、一定時間を超える場合は200円【1日最大料金】)
貸出方法	無人機械方式
利用できる方	中学生以上
業務委託先	株式会社 福山コンサルタント

社会実験結果の概要

◆ 第一次社会実験結果より...

- 姫ちやりに対するニーズの確認(回転率1.76回/日・台)
- 32%の利用者が社会実験エリア外まで行動範囲が拡大
- 非利用者に比べ、利用者の方が長時間滞在の割合が高い
- 95%の利用者が姫ちやりについて満足
- 96%の利用者が便利であり、今後も利用したい

◆ 第二次社会実験結果より...

- 姫ちやりに対するニーズの確認(回転率1.05回/日・台)
※全国平均0.53回/台・日(77都市)【H27.11時点】
- 80%の利用者が公共交通の端末交通として利用
- 76%の利用者の行動範囲が広がる
- 68%の利用者が滞在時間増
- 84%の利用者が機械式について利用しやすい
- 96%の利用者が本格運用を希望
- 9%の利用者が外国人

コミュニティサイクル 『みんなの自転車「姫ちやり」』

本格運用

社会実験の結果を踏まえ、
平成28年7月1日より本格運用を開始。

【概要】

利用時間	7:00～20:00 (返却は24時間対応)
貸出・返却 ステーション	20箇所 (現金及びクレジットカード)
車両数	160台(稼働台数 150台)
基本料金	1日 100円 1ヶ月 1,500円 3ヶ月 4,000円 6ヶ月 7,500円
追加料金	最初の60分は無料。 以後30分毎に100円追加料金
貸出方法	無人機械式
利用対象	中学生以上



利用状況について

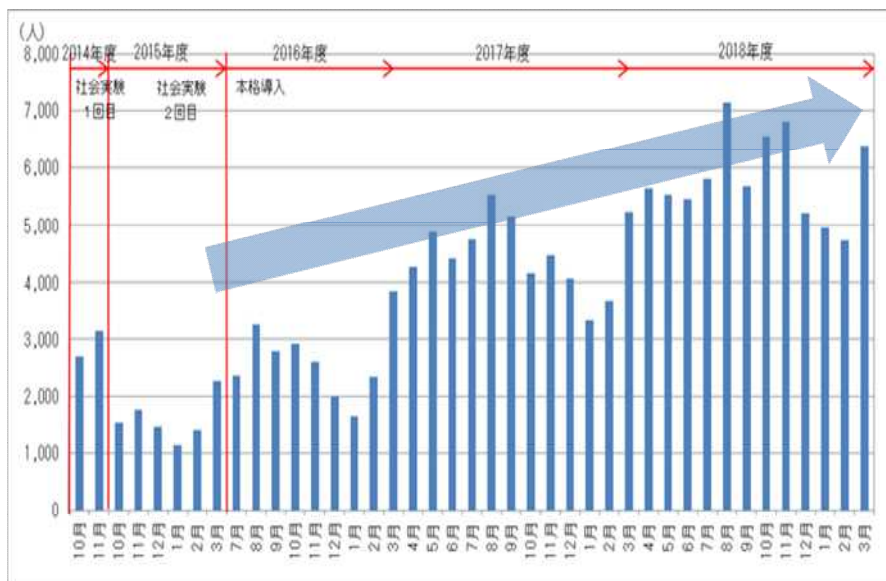
【利用実績】 ※H30.4.1～H31.3.31(354日間)

利用者数	69,883名
延べ利用回数	110,893回
1日平均利用回数	313回/日 (平日323回/日、休日292回/日)
回転率	2.08回/台・日 (平日2.16/台・日、休日1.94回/台・日)
平均利用時間	約24分/回 (平日約22分/回、休日約30分/回)

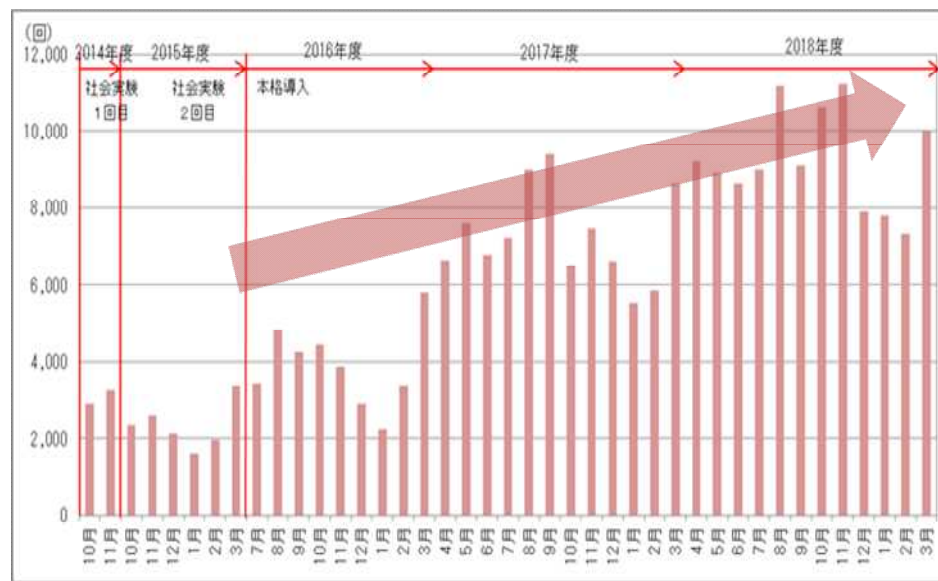
【評価】

- 平成29年度と比較して平成30年度は、利用者数約1.3倍、利用回数約1.3倍と順調に増加している。
- 令和元年度についても、利用者数及び利用回数は増加している。

< 利用者数の月別推移 >



< 利用者回数の月別推移 >



運営における課題

- ◆ランニングコストの抑制(持続性ある事業に)
- ◆利用料金の合理化(民間事業との公平性)
- ◆ニーズに見合った自転車数、ステーションの配置
- ◆ステーション用地の確保
(地権者、道路管理者、公安委員会等との調整)
- ◆地域との連携(まちへの経済波及効果)
- ◆観光客への周知・PR(インバウンド対応)

ネーミングライツスポンサー事業の概要

◆ 事業目的

コミュニティサイクル「姫ちゃり」事業の持続的な運営を目指し、自主財源を確保する観点から、ネーミングライツスポンサーを公募する。

◆ 事業効果

市内外から多くの人々が訪れる姫路駅や姫路城周辺に配置しているステーションや車両、パンフレットなど、身近に目に触れる機会が多いポテンシャルを活かした広告媒体として、PR効果が大きい。

◆ 広告掲出箇所

- ・サイクルステーション端末機 対象機器：20箇所（H31.4現在）
- ・車両本体（ドレスガード両面） 対象車両：160台（H31.4現在）
- ・パンフレット等の印刷物・ホームページ

ネーミングライツ事業

◆ 募集方法

- ・一般公募方式により実施
- ・選定委員会(5名)により、経営安定性・CSRの取り組み・愛称などを基準に選定

◆ 契約者

- ・株式会社 西松屋チェーン(本社:姫路市)

◆ 契約期間

- ・平成29年4月17日から令和2年3月31日まで(3年間)

◆ ネーミングライツ料

- ・対象施設一括で、年額 500万円(税込)

◆ 施設等の広告状況



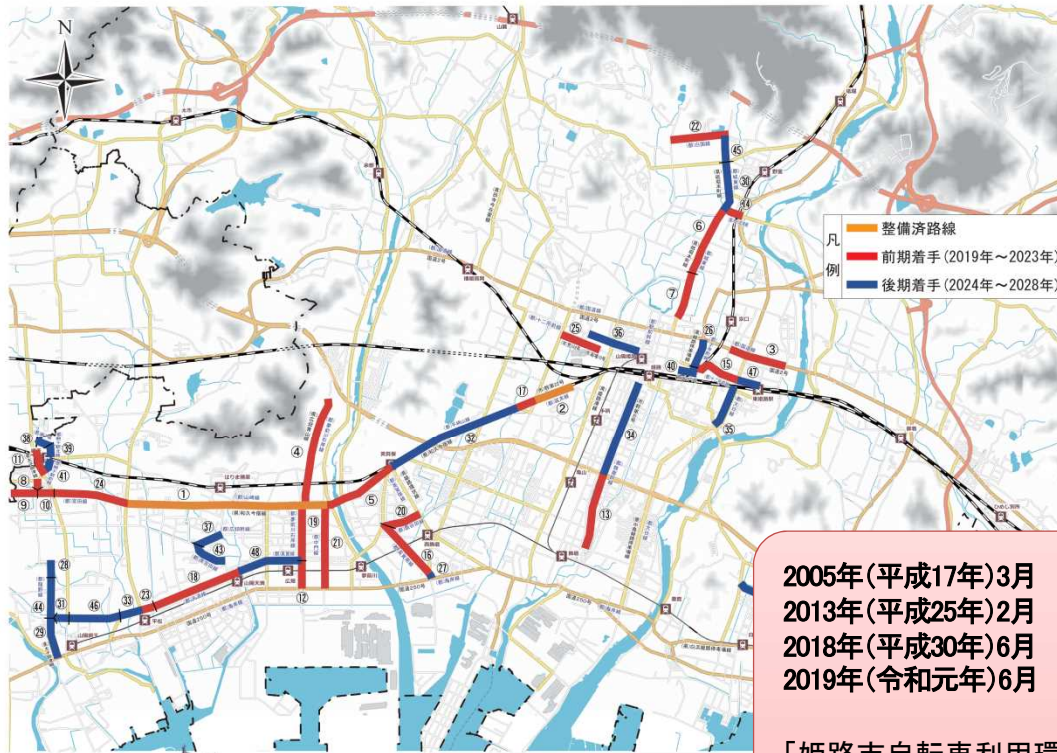
今後の事業展望

- ◆利用の多いステーションの拡充(イベントゾーンなど)
- ◆定期利用者の確保
- ◆法人利用の導入検討
- ◆観光客(特にインバウンド)への周知・PR
- ◆市民啓発活動の推進(交通安全キャンペーン等への車両貸出)
- ◆スマートロック方式のシステム導入に向けた検証
- ◆公設民営に向けた研究等
- ◆ネーミングライツの拡大など事業外収入の確保

姫路市の自転車利用環境整備について

■ 姫路市自転車ネットワーク整備プログラム(2019年策定)

3. 自転車ネットワーク整備箇所



前期着手(2019年~2023年)

区別	区・市・町名	都市計画道路名	整備形態	事業主体
③	国道2号	国道線	自転車道	兵庫県
④	(県) 成歩山線(44号)	夢前川右岸線	自転車道	兵庫県
⑤	(県) 和久寺宮線	山崎線	自転車レーン	兵庫県
⑥	(県) 堀本町線	城東線	自転車レーン	兵庫県
⑦	(県) 堀本町線	城東線	自転車レーン	兵庫県
⑧	-	龍野線	自転車レーン	兵庫県
⑨	-	宮田線	自転車レーン	兵庫県
⑩	-	宮田線	車道直在(路肩内)	兵庫県
⑪	(主) 太子御津線	-	車道直在(路肩内)	兵庫県
⑫	(市) 第43号	夢前川右岸線	自転車道	姫路市
⑬	(市) 第6号	鶴殿幹線	自転車レーン	姫路市
⑭	(市) 第46号	市川左岸線	自転車レーン	姫路市
⑮	(市) 第79号	十二所前線	自転車レーン	姫路市
⑯	(市) 第12号	英賀寺線	自転車レーン	姫路市
⑰	(市) 第22号	延末線	自転車レーン	姫路市
⑱	(市) 第29号	天満線	自転車レーン	姫路市
⑲	(市) 第49号	夢前川左岸線	自転車レーン	姫路市
⑳	(市) 第34号	龍谷田線	車道直在(路肩内)	姫路市
㉑	(市) 第41号	中門線	車道直在(路肩内)	姫路市
㉒	(市) 第67号	白岡線	車道直在(路肩内)	姫路市
㉓	(市) 第39号	天満線	車道直在(路肩内)	姫路市
㉔	(市) 第60号	宮田線	車道直在(路肩内)	姫路市
㉕	(市) 船場10号	-	車道直在(車道内)	姫路市
㉖	(市) 庚川6号	-	車道直在(車道内)	姫路市
国・道			9路線	
市道			14路線	
合計延長			18.7km	

後期着手(2024年~2028年)

区別	区・市・町名	都市計画道路名	整備形態	事業主体
㉗	(県) 姫路停車場線	下寺町線	自転車レーン	兵庫県
㉘	(県) 田中寺宮線	英賀寺線	車道直在	兵庫県
㉙	-	龍野線	車道直在(路肩内)	兵庫県
㉚	(主) 太子御津線	龍野線	車道直在(路肩内)	兵庫県

※本検討は今後の詳細検討や関係機関との協議による
※事業着手時期については交付金の予算令達の状況



この計画についてのお問い合わせは
下記にお願い致します。
姫路市道路建設課 TEL:079-221-2616

- 2005年(平成17年)3月 姫路市自転車利用環境整備基本計画 策定
- 2013年(平成25年)2月 姫路の歩行者・自転車の安全・快適化計画 策定
- 2018年(平成30年)6月 姫路市自転車利用環境整備計画 策定
- 2019年(令和元年)6月 姫路市自転車ネットワーク整備プログラム 策定

「姫路市自転車利用環境整備基本計画」と「姫路の歩行者・自転車の安全・快適化計画」を踏まえ、走行面・安全面の両面で質の高い自転車通行空間の創出を図ることを目的に、双方の計画を踏襲した「姫路市自転車利用環境整備計画」を策定。
また、姫路市自転車利用環境整備計画に基づいて、今後、自転車利用環境を向上していくべき路線から、優先的・重点的に取り組む路線と整備時期をまとめた自転車ネットワーク整備プログラムを策定。